

提出日：2020年1月28日

使用大会・事業名	U28 ヤングオフィシャルキャンプ 2019 (B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2020)
参加期間	2020年1月7日(火)～1月8日(水)
報告者	高田緩奈
開催地	スカイホール豊田 (豊田市総合体育館) : 愛知県豊田市

## 概要 (会場、参加チーム、競技方法など)

U28 ヤングオフィシャルキャンプ 2019

大会 : B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2020

趣旨 : B.LEAGUE に所属するクラブが運営している U15 チームの交流と中学生チームにおける U15 年代の交流を目的とする。

会場 : スカイホール豊田 (豊田市総合体育館)

参加チーム : 北海道、秋田、岩手、山形、仙台、福島、茨城、宇都宮、八王子、SR 渋谷、A 東京、東京 Z、横浜、群馬、千葉、川崎、新潟、富山、信州、三遠、三河、名古屋 D、F 名古屋、滋賀、京都、大阪、西宮、奈良、島根、広島、愛媛、福岡、熊本、琉球

## スケジュール

2020年1月6日 (月)

各自チェックイン

21:00～ グループ顔合わせ 事前課題確認

2020年1月7日 (火)

8:45～ 集合・受付

開講式

講師紹介

(宇田川貴生氏、阿部哲也氏、湯浅剛氏、加藤誉樹氏、漆間大吾氏、尾形美樹氏、平出剛氏、堀内純氏、上田篤拓氏)

9:30～ 講義①

「インテグリティについて」 宇田川氏

講義②

「3PO メカニクスについて」 堀内氏、平出氏、尾形氏

10:30～ 講義③

「映像研修：英語でのディスカッションとプレゼンテーション」

昼食

12:30～ 実技研修

18:45～ 講義④

「FIBA/プロフェッショナルレフリーの取り組みについて」 漆間氏、加藤氏、上田氏

19:30 終了  
各自チェックイン

2020年1月8日(水)

8:30～ チェックアウト 各自会場移動

9:00～ 閉講式

9:30～ 実技研修  
終了次第各自解散

### 同グループ審判(R)、担当インストラクター(IR)

役割	氏名	都道府県	性別	役割	氏名	都道府県
A	上 久 保 顕	東京都	男	IR	加 藤 誉 樹	東京都
	永 富 万 結	長野県	女	IR	上 田 篤 拓	東京
	片 山 峻	京都府	男			
	本 田	福岡県	女			
	内 田 諭 志	三重県	男			

### 担当試合

試合日	カード 点数 <small>例) CAN 85-68 NGR</small>	会場	CC/U	パートナー (CC/U、氏名、国名)	試合雑感
1/7	福島 — 北海道 58 64	スカイホール豊田	U1	CC:高橋奈央(岐阜) U2:内田諭志(三重)	PGCでは、クレー間でメカ等確認。 レバングのピックマン(オールラウンダー)とガード陣はDFがタイトにマッチアップの見極めが要。
"	東京Z — 京都 91 61	スカイホール豊田	CC	U1:山田佳奈(愛媛) U2:三好浩平(山口)	PGCでは、映像を活用しながらクレー間で情報共有。京都#4を集中的にDF。東京Zは、得点が取れるプレイヤーが多く、外も中もスコアできる。
1/8	熊本 - SR 渋谷 69 66	スカイホール豊田	U1	CC:深野木慧(兵庫) U2:野村凌我(高知)	熊本の体の使い方(特にDF) T. O(特にClock)管理に課題は残る。 OTまでいくゲームの盛り上がり。

### 講義内容

#### 『インテグリティについて』

インテグリティの精神をガイドラインに反映。文章として統一。審判員・選手・コーチ、観客ほか、HPやYoutubeなど映像としても公開。

「コーチ VS レフリー : プレイヤー VS レフリー」ではなく、周りの観客が見ている品の良いゲームになるように。気分の良いふるまいに変換してもらうことでバスケットが盛んになる。レフリーとしての対応をしない限りインテグリティがなくなることはない。そして、経験・実績のある著名な指導者に対するTFの吹きづらさも、フェアなことを追求すると粛々と判定に努める。そのために、我々審判員に必要なことは、競技規則に則って「正しい判定」を続けることがリスクマネジメントに値する。コートで事実を確認することや、映像で振り返りをしながら“意識化”していく努力が“無意識化”になるように、リスクマネジメントとして正しい判定に努めることが大切である。

#### 『3POメカニクスについて』

精度の高い判定のために3POメカニクスがある。システムはマニュアルに記載されているため熟読。

L : スイッチサイドのタイミング、プライマリーの確認が重要。

- ① パイプの中に縦に入ってくるドライブ ② エッジの下のコンタクト 3 pt (フット アップ ランド)

C : 3本のラインを使い分ける。アクティブなセンターとして生命線なる。

よりよいポジショニングで、良いアングルを保ちながら判定に前向きに望む。

T : 3 vs 2 ? ショットの確認。スクリーンプレイ、プロテクトシュート、ピックザペイント、裏、表の確認

そのほか

習慣化→①ファウルカウント (シューター) ②スピードアジャスト ③EOG,EOQ

『FIBA/プロフェッショナルレフリーの取り組みについて』

漆間氏

・リーグ期間中のプロレフリーの生活パターンの紹介。ゲームに臨むにあたってのスカウティングをする。CREW への情報共有。

PGC (約 2 H ほど)

内容 : TEAM のスカウティング (チームのプレイの傾向を把握して対応できる方法をする。“予測の材料” (事前情報)、選手の傾向 (軸足の把握や過去にされた foul についてはチームはよく覚えている。そのレアケースについては対応できるような事前情報の共有) )

メカニクスは正しい判定をするためのもの。それが崩れないようにすることは徹底。

ポストゲームカンファレンス→試合の映像をクルーで確認をしながら、次に向けての反省・よかったことなどを振り返りをする。

加藤氏

・FIBA レフリーについて

FIBA を目指すにあたっての準備。

FIBA レフリー (「TOP OF THE TOP」) がすべてではない。

ライセンスの期間 : 9 月 ~ 8 月 2 年間

ライセンス 3 種類 : ①ブラック : すべて (男女) の A 代表、アンダーカテゴリーの国際審判が可能 ②グリーン : 本大会 A 代表の男性のゲーム以外 ③ホワイト : すべてのアンダーカテゴリーのゲーム、東アジアのゲーム (大人の男女) )

条件 : ①その国のトップリーグをコンスタントに 2 年間担当している。

② 活動の年齢制限は 50 歳まで。

③ 35 歳以降は取得できない。(34 歳までに取得は活動ができる。)

④ ルールテスト、健康診断、FIBA が出すすべてのテストをクリアしたもの

~資格が与えられる~

◎何をどのように頑張っとうなるのかの実行、そして活躍することが日本のレフリーが FIBA で活躍できるように。

上田氏

・「FIBA をめざすことを自分の人生の 100% にしないほうが良い。」(目指すのが悪いわけではない。可能性が高いわけでもない。)

FIBA が一番うまいわけではない。FIBA がいなくても日本を盛り上げる努力はできる。

年に一回の活躍のために自分の人生をすべてにするのはもったいない。

A 級になることや S 級になることがすべてではない。目指さなければならないけれど、目指すことがすべてではない。

うまくいかないときに自分じゃないものを責めることをすることがあるかもしれない。忘れないでいることは、【バスケットが好きなこと、レフリーが好きなこと。笛をふくことをやめないでもらいたい。】この思いはなくさない。いつまでもなくさないでいくこと。

## ミーティングについて（共有事項、強調された点など）

・C→C

早めに準備しておく必要がある場面がある。Cとしてのプレイへのアジャスト。アングルの取り方、判定にのぞむ意識。

・Lローテーション

サクサク移動。何のためにローテーションをするのか。その必要があるのか。思い立ったらすぐローテーション。

・プレゼンテーション

見せ方の工夫。

現象) ショットリバウンドファウル（コール）—カウント？ノーカウント？⇒示し方の工夫。（声・レポートの場所 etc）

・SCの管理

時間を担当するべき人が困ったとき・インシデント場面（TOトラブル等）のクレーワーク。

## 全体の感想、提言、他県からの参加者から学んだこと、新たに確認した審判技術等について

YOC研修に参加させていただきありがとうございました。

最年長としての参加になりましたが、各県の審判員と交流することができて良き刺激を受けました。

上級になることや、トップリーグを担当すること、世界の舞台に立つこと、すべて夢を持つことはよいこと。ただそれをすべてのゴールにするだけではなく、「良い審判員になる」ことが重要であること再認識できました。

審判員としての評価は、「良い判定を続けていくこと」そのためにメカニクスやシステムがあることも忘れてはいけない。また、競技規則、メカニクスがあることによって誰と組んでも同じことができる。どこで誰と組んでも同じようにゲームを担当できること。改めてルールブック等を見返しながら大事な事項を把握するおさらいができました。当たり前のことを当たり前により続けることが意識から無意識になり習慣づく。痛感して気持ちを改めてまた審判活動を楽しんでいきたいとおもいます。

英会話では、完璧な英会話はできませんでしたが、グループ全体「ONE TEAM」として、自分の思っていることを自分の知っている英語とジェスチャーで表現をするところに努めることができました。伝える手段と言葉を再び学習をしたいと思います。

最後に、On the Courtも Off the Court もすべてのことが管理できるような人間になりたいと思いました。

JBAの講師陣の皆様、運営担当の山本様、体育館の事務局の方すべての方々大変お世話になりました。ありがとうございました。楽しく、一生懸命！今後も審判活動に励んで参りたいと思います。

## 写真 ※ご提供いただける写真があれば、短いコメントと共に添付をお願いいたします。

愛知にむけて



集合写真～また皆さんと再会できますように～



B.LEAGUE

U15 CHAMPIONSHIP

大変お世話になりました。



はじめまして。誰と組んでも同じ。  
メカニクス等々の情報共有。



東北ブロック

参加させていただきありがとうございました。

